



令和7年度

稲城市教育委員会児童・生徒表彰式を開催しました



3月11日(水)、中央文化センターホールにて
令和7年度稲城市教育委員会児童・生徒表彰式を開催しました。
令和7年度に、人命救助、文化・芸術、スポーツ活動で
活躍された50人・3団体を表彰しました。



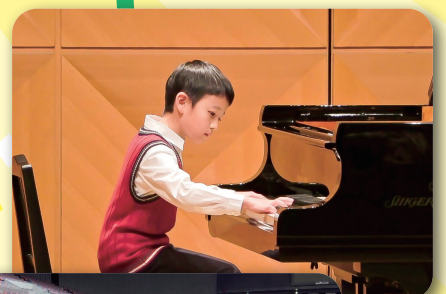
受賞者のみなさん、誠におめでとうございます。



表彰者や表彰実績は
市ウェブサイトをご覧ください。



市ウェブサイト



教育長コラム

No.13



学校との対話と協働

4月1日、教育委員会は、各学校の校長先生・副校長先生ご出席のもと、他自治体から転入された教職員をお迎えし、「令和8年度稲城市立小中学校教職員辞令交付式」を挙行了しました。当日は、三沢川沿いの桜と梨の花がすばらしい競演を披露、連日の風雨にも負けず、新天地に立つ方々をお祝いし歓迎してきていました。

式典は、「転入教職員への辞令交付」、「新規採用教員による『服務の宣誓』」、「新規採用教員への辞令交付」、「教育長挨拶」と進められ、私は、「昨日3月31日訪問した各学校では、4月に新たなスタートを切るための準備を、教職員の方々が一丸となって取り組まれていました。」「自然豊か、スポーツとエンターテインメントの街としてますます活気付く本市で充実した日々を過ごしてください。」とのメッセージを送りました。式典はさらに、出席者全員による「市歌斉唱」を行い、閉式となりました。そして各学校では新体制による学校運営がスタートし、教育委員会は「定例校長会」「定例副校長会」等の開催を経て、4月15日(水)から「年度当初学校訪問」(以下「当初訪問」)を開始しました。

時期に、数日間にわたり稲城市立学校全18校を訪問するものです。メンバーは、私と、教育委員会事務局職員(教育部長・教育指導担当部長・教育企画課長・教育指導担当課長・指導主事)です。各学校1時間程度という限られた時間設定ですが、各学校の経営方針・状況・今年度の解決すべき教育課題等についてご説明いただき、質疑応答、意見交換を行う貴重な機会です。

私はこの「当初訪問」を、学校経営の工夫点や課題等について校長先生方と対話し、今後に向けた方向を展望し、さらに目標達成のためにどのように力を合わせていけるか、つまり協働していかけるかを共に考える貴重な機会として、大切にしてきています。

今年度「当初訪問」は、原稿執筆現在(令和8年4月20日)、実地中であり、全18校中6校の訪問を終えたところですが、大変有意義な訪問を行ってきたと思います。そこで、以下に、これまで訪問した6校において得た感想等を申し述べたいと思います。

【校長先生と副校長先生のビジョンの一致】 「当初訪問」開始前日4月14日(火)、教育委員会は「第1回定例副校長会」を開催し、会の中で、全副校長先生方から、「令和8年度の重点教育課題と副校長としての対応策」をお話しいただきました。その際各副校長先生方がトップに挙げた経営課題が、「当初訪問」にてお示しいただく校長先生方の「重点課題」とぴったり合っており、各学校の管理職お二人の経営課題が共有されており、お二人がビジョンを同じくされていることがはっきりと分かりました。各学校ともに、このような強い経営体制のもと、令和8年度が始められているのです。

【地域や専門家の方々のご支援とカリキュラムマネジメントの推進】 各学校では、令和8年度も、「梨の栽培体験」「起業家精神についての学習」「福祉体験」「水道キャラバン」「野球教室」「ボッチャ体験」「保育園との交流」「上級学校体験等、地域や専門家の方々のご支援による様々な教育活動を計画しています。本市の学校は、以前から地域の方々の厚いご支援をいただいていたりましたが、年々、その内容が多様になってきています。これは、学校支援コンシェルジュの皆様のご尽力の成果であり、加えて、社会情勢を見据え教育課題を把握しながらの各学校のカリキュラム・マネジメントの充実の結果と確信しています。皆様からの温かいイールと、学校のマネジメント力向上とがタイアップし、さらに各学校の教育活動が充実していくことを、期待しております。

【集団活動の中での子どもの育の実現】 ある中学校を訪問した際、ちょうど体育館での学年集会が終わり、第2学年生徒の皆さんが校舎内廊下を通り教室に戻っているところでした。生徒の皆さんは、一切の私語もなく、整列した状態を保って歩行していらっしゃいました。その光景に深い感動を覚えました。この私の感動は、「お行儀がよい」からではありません。このように、必要な時に整然と行動できるということ、いざという時に集団で自他の安全を守ることでできるという、社会の中で生きていくための必要かつ重要な資質であると感じたからです。遊ぶときは思い切り楽しみ、面白いことに出会ったら大声で笑い、その上で、必要な瞬間には静かな姿勢をとれるという力は、社会に生きる上で必要であるとともに、集団の中で培われていくものです。本市の学校がこのような力の育成も実現してきているという一面を確認しました。

また、ある学校では、「ICTの活用推進の成果」の上での情報モラル教育の充実」という教育課題を挙げ、ある学校では、「児童がどの教員にも相談できる体制」「よりよい挨拶をする習慣づくり」を指すとのことでした。いずれも、他者との関係づくりと個々の力の育成を連動させながらの取組であり、改めて、子どもたちが仲間と過ごしながら個々の力を伸ばしていくという、学校における教育活動の意義を学校と共有いたしました。

このように、稲城市の学校は、児童生徒がこれからの社会に活躍する力を培い高めることを目指し、令和8年度の教育活動をスタートさせました。そして、教育委員会は、このような学校の姿を、「当初訪問」という直接の対話により、把握・確認しているところです。

【当初訪問】による、学校と教育委員会との対話は、さらに、教育委員会の示す方向を学校はどのように具現化していくか、学校の目標達成のため教育委員会はどのようにサポートしていくかについて、つまり協働の方策を見出すためのきっかけもなっています。

私は今後も、学校訪問の機会を重視し、そこで出会う子どもたちや教職員、学校の姿を踏まえ、さらなる教育施策推進を図ってまいります。 稲城市教育委員会教育長 杉本真紀子



令和8年度稲城市立小中学校教職員辞令交付式の様子

第三次稲城市立学校における働き方改革実施計画を策定しました

稲城市教育委員会では、令和8年度から令和10年度までを計画期間とした、「第三次稲城市立学校における働き方改革実施計画」を策定しました。

本計画は、稲城市立学校における「働き方改革」を、業務削減や勤務時間短縮の取組のみならず、教員・子ども・地域をはじめとした教育に関わるすべての人のウェルビーイングの実現を目指す取組として位置付けています。

保護者や地域の皆様におかれましても、次代を担う子ども達のため、働き方改革に対するご理解とご協力をお願いいたします。

詳細は市ウェブサイトをご覧ください。

▷問合せ 教育総務課教育総務係



市ウェブサイト

東京都教育委員会職員表彰

令和7年度東京都教育委員会職員表彰式が1月19日(月)に開催され、都内全域から10団体92名が表彰されました。稲城市からの被表彰者は、稲城第二中学校・杉本ひとみ校長と南山小学校・鈴木雅之主幹教諭(当時)です。

杉本ひとみ校長は不登校対応への取り組みに貢献され、鈴木雅之主幹教諭は小学校の教科担任制導入における功績が認められました。

▷問合せ 教育企画課教職員係



稲城第二中学校杉本ひとみ校長



南山小学校鈴木雅之主幹教諭(当時)

稲城市教育委員会が取り組む学校と地域との連携・協力体制

稲城市は、多くの地域の方々に子どもたちの教育活動をご支援いただいております。子どもたちの健やかな成長と学校教育を支えてくださっている組織をご紹介します。

稲城市地域教育懇談会

「稲城市地域教育懇談会」は、昭和60年、各中学校ブロックに設置されました。本懇談会は、学校・園・PTA等とともに、自治会・青少年育成地区委員・民生委員等、地域の様々な関係者により組織され、ブロックごとに、地域の子どもの健全育成のための情報共有・協議や活動を行っています。



市ウェブサイト

学校支援コンシェルジュ

「学校支援コンシェルジュ」(地域学校協働活動推進員)は、稲城市では平成25年度に事業を開始し、現在、中学校ブロックごとに数名で活動いただいております。

学校支援コンシェルジュの皆様には、学校の教育活動を支援する地域や専門家の方々を紹介いただく、コーディネーター役を担っていただいております。



市ウェブサイト

▷問合せ 教育企画課教育企画係

稲城市立小・中学校の校長・副校長 (令和8年4月1日現在)



市ウェブサイト
(学校紹介)

学校名	校章	校長名	副校長名
小学校			
稲城第一小学校		高垣 大介	関 聡司
稲城第二小学校		中谷 勝行	前田 仁美
稲城第三小学校		小林 洋之	栗木 勇
稲城第四小学校		高橋 裕之	遠藤 昌志
稲城第六小学校		加藤 正人	小出 宏之
稲城第七小学校		黒澤 敦史	米山 珠理
向陽台小学校		古見 誠	志村 光太郎
城山小学校		山本 美早	松本 正尊
長峰小学校		壺井 智裕	井上 真一

学校名	校章	校長名	副校長名
若葉台小学校		関 拓也	佐藤 孝
平尾小学校		福田 章人	長江 理
南山小学校		高橋 達也	堀口 剛
中学校			
稲城第一中学校		猪瀬 政幸	高城 由貴子
稲城第二中学校		杉本 ひとみ	中島 徹
稲城第三中学校		中野 広孝	石原 春彦
稲城第四中学校		橋 太造	山下 正美
稲城第五中学校		小林 淳一	笠井 淳子
稲城第六中学校		大山 聡	加藤 雄一

新規採用のALTを紹介しませう!

新しく採用したALT 2人を紹介しませう。



■Bell ベル講師(担当校:稲城第三小学校、向陽台小学校、稲城第一中学校)

Hello! My name is Bell. I am very happy to be here and I really enjoy helping you all learn English every day. Let's continue to have a wonderful time together!

ベルといひませう。皆さんとお会ひできるととても嬉ひませう。毎日、皆さんが楽しく英語を学ぶお手伝ひができることに、やりがひを感じていひませう。これから一緒に素晴らしい時間を過ごしましませう!



■Gladys グラディス講師(担当校:稲城第四小学校、稲城第六小学校、稲城第三中学校)

Hi everyone! My name is Gladys. I'm looking forward to meeting all the students and teachers. Let's make English learning fun and exciting both in and out of the classroom!

皆さん、こんにちは! グラディスです。生徒・児童の皆さんや先生方にお会ひできるのを楽しみにしていひませう。教室の中でも外でも、英語学習を楽しくワクワクするものにしていひませう!

▷問合せ 教育企画課教育企画係

ランドセルカバーを寄附いただきました

稲城市立小学校新入学児童全員に、東京ヴェルディ株式会社(協賛会社:日本瓦斯株式会社、ゼビオホールディングス株式会社)からランドセルカバーを寄附いただきました。今回で7回目の寄附となるランドセルカバーは、東京ヴェルディ公式マスコット「リヴェルン」と「稲城なしのすけ」がコラボレーションしたデザインとなります。

稲城市の子ども達の交通安全対策、安全意識を高めるとともに、稲城市をホームタウンとする東京ヴェルディの認知向上を図るために、新入学児童にお渡しいたしました。

安全帽子と防犯ブザーを配付しました

稲城市教育委員会では、通学時の児童の安全確保のため、市立小学校新入学児童に安全帽子と防犯ブザーを配付していひませう。子ども達に対する犯罪予防と交通安全のため、ご活用ください。



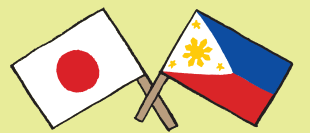
▷問合せ 学務課学務係

平尾小学校

フィリピン・コルドバ町とのオンライン交流会

2月25日(水)、平尾小学校にて、「教育交流に関する協定」を締結したフィリピン・コルドバ町の中学校とオンライン交流会を実施しました。児童は英語で自己紹介や給食、休み時間の過ごし方などの写真を用いて紹介し合ひ、笑顔でやり取りする様子が見られました。

「自分の言葉が通じた」という実感が広がり、表情や反応から学びの深まりが伝わる時間となりました。交流先の学校からも、児童の積極的な姿や学びの様子に対して温かい言葉が寄せられました。



▷問合せ 教育企画課教育企画係

城山小学校

科学好き必見! 稲城サイエンス特例校



令和8年度から、城山小学校を「稲城サイエンス特例校」に指定しました。「稲城サイエンス特例校」では、児童の理科への興味・関心を高め、科学的な探究能力を培うことを目的として、サイエンス教室等の特色ある教育活動を実施いたします。また令和9年度には、市内全域から城山小学校への通学を可能にすることで、城山小学校に理科好きな児童が集まり、通学児童数の増加につながるるとともに、本市の理科教育の推進が図れると考えていひませう。

今後、本紙にて定期的にお知らせしていひませう。

▷問合せ 教育企画課教育企画係

稲城チャレンジクラス開設!

稲城市では、令和8年4月、不登校の生徒を支援する「稲城チャレンジクラス」を稲城第五中学校内に設置しました。

入級にあたっては、見学・面談・体験入級を経て審査をした後、順次入級となります。

対象となる生徒

稲城市立中学校に在籍している生徒

- (1) 何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくてもできない状況にある生徒
- (2) 断続的な不登校又は不登校の傾向が見られる生徒

【今後の説明会等の予定】

説明会 令和8年7月上旬、令和8年10月中旬

体験入級 令和8年6月から11月

3期に分けて実施

詳細や日程調整はお問い合わせください。

▷問合せ 教育企画課教育企画係



チャレンジクラス入口

ESD卒業プログラムについて



稲城市教育委員会では、中学校第3学年において、9年間のESD(持続可能な社会の創り手を育む教育)の仕上げとして、将来の地域や社会の担い手となる自覚や資質を育てるために、すべての中学校において「ESD卒業プログラム」を実施していひませう。令和7年度の「ESD卒業プログラム」では、ESDの視点に立った修学旅行や地域との連携による国際理解教育・キャリア教育に加えて、市役所の職員等と連携した認知症サポーター養成講座や消費者教育など、各学校で充実した学習活動が実施されました。生徒が自立した稲城市民であるという自覚をもち、持続可能な社会の創り手となるために、今後も「ESD卒業プログラム」を継続して実施いたします。

▷問合せ 教育企画課教育企画係



認知症サポーター養成講座の様子

教育委員会の動き

第2回定例会 2月10日

1. 教育行政報告
2. 議案(可決)
稲城市学校給食費に関する規則の一部を改正する規則
稲城市立図書館運営規則の一部を改正する規則
3. 報告事項

第3回定例会 3月19日

1. 教育行政報告
2. 議案(可決)
令和8年度稲城市教育委員会職員の仕事について

1. 稲城市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則
2. 稲城市教育委員会事務局処務規則の一部を改正する規則
3. 稲城市立小・中学校学校医等(令和8年度)の委嘱について
4. 稲城市立小・中学校学校運営協議会委員(令和8年度)の任命について
5. 第三次稲城市立学校における働き方改革実施計画について
6. 報告事項

第4回定例会 4月13日

1. 教育行政報告
2. 議案(可決)
稲城市立小・中学校学校運営協議会委員(令和8年度)の解任及び任命について
3. 議案(承認)
専決処分承認を定めることについて(令和8年4月1日付稲城市立小・中学校学校運営協議会委員に任命する者)の一部変更
4. 報告事項

▽問合せ 教育総務課教育総務係

特別支援教育相談

令和9年4月に小学校・中学校に入学するお子さんの就学・進学相談

稲城市教育委員会では、一人一人のお子さんが、安心して学び、自分の可能性を信じ、伸ばせるよう、教育・心理を専門とする相談員が、お子さんの就学・進学について、ご家族と一緒に考えさせていただき就学・進学相談を実施しています。
 お子さんの就学・進学について、ご心配なことやご相談されたいことがございましたら、どうぞご利用ください。

【対象】

- ・令和9年4月に小学校・中学校に入学するお子さんの保護者

【相談内容の例】

- ・集団生活についてのご心配
- ・学習についてのご心配
- ・対人関係についてのご心配
- ・発音や話し方、ことばについてのご心配
- ・その他 お子さんの発達や学校生活についてのご心配
- ・都立特別支援学校小学部・中学部等への入学についての相談
- ・稲城市立小・中学校に設置されている特別支援学級への入学についての相談
- ・稲城市立小・中学校の通常の学級に在籍し、特別支援教室(すまいるルーム)、きこえとことばの教室での支援についての相談

【相談の申込方法】

- ・右記のQRコードを読み込み、申込フォームにてお申込みください。
- ・申込フォームからお申込みいただいた後、稲城市特別支援教育相談室から相談の日時などの調整についてご連絡させていただきます。
- ・相談は、お申込みいただいた方から順次、行います。申込締切は、令和8年9月30日(水)です。



申込フォーム

【相談】

相談では、相談員による個別面談の他、お子さんや保護者のニーズにより、以下のことに対応させていただきます。

- ・お子さんの発達などに関する検査
- ・特別支援教室(すまいるルーム)、きこえとことばの教室、特別支援学級、特別支援学校の見学
- ・医師、学校長、特別支援教育担当教員、心理士などによる就学・進学先の検討と保護者への教育的助言



特別支援教育相談室前

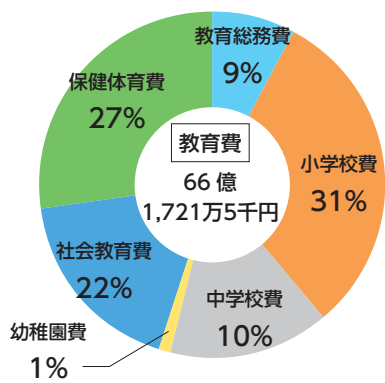
■相談場所・問い合わせ先■

稲城市平尾1-9-1 複合施設ふれんど平尾 4階 特別支援教育相談室
 電話：042-331-7302 問い合わせ時間：平日 午前9時から午後4時30分まで

令和8年度 教育委員会の予算について

令和8年度教育費の予算は、稲城市一般会計予算477億6100万円のうち約13.9%の66億1,721万5千円です。

令和8年度教育費予算



- 教育総務費 5億9,430万7千円
教育委員会、教育委員会事務局及び小中学校の教育指導等に要する経費
- 小学校費 20億3,791万7千円
学校の運営、学校施設の整備等に要する経費
- 中学校費 6億9,205万3千円
学校の運営、学校施設の整備等に要する経費
- 幼稚園費 4,258万8千円
幼児教育振興に関する経費
- 社会教育費 14億3,148万3千円
公民館や図書館、iプラザの運営や文化財保護等に要する経費
- 保健体育費 18億1,886万7千円
学校給食に関すること、体育施設の管理、スポーツ推進事業等に要する経費

令和8年度は、稲城チャレンジクラスの開設のほか、稲城市立図書館学習スペースの整備・拡充を実施します。

新規事業
稲城サイエンス特例校の開設
稲城チャレンジクラスの開設
稲城市制施行55周年記念 全国将棋サミット2026及びいなぎ将棋まつり
平尾古民家記録保存事業
稲城市立 i プラザ施設維持管理業務の事後評価及び劣化診断結果等に係る評価・分析委託
稲城市立図書館学習スペースの整備・拡充

レベルアップ
教育相談事業の一部委託化
梨の実ルーム分室の開室
学校部活動の地域連携の推進

普通建設事業
稲城第三小学校校舎建替工事
長峰小学校屋上防水改修工事
稲城第一中学校校舎増築工事実施設計委託
稲城第四中学校校舎体育館バリアフリートイレ設置工事
中学校特別教室空調設備設置工事
学校給食共同調理場第二調理場空調設備設置工事設計委託

▽問合せ 教育総務課教育総務係

教育相談室からのお知らせ

令和8年4月から、教育相談業務の一部を民間委託(株)LITALICO)し、より充実した相談支援を提供できる体制づくりを進めています。専門的な知識や経験を活用することで、一人ひとりのお悩みに寄り添う相談窓口を目指します。

【来室相談】電話及びメールで受付後、心理士が相談を行います。

【相談の受付方法】

電話受付：教育相談室(ふれんど平尾)042-331-6686

教育相談室分室(大丸)042-378-2110

※平日午前9時から午後4時30分まで受付

メール受付：kyouikusoudan-inagi@litalico.co.jp

詳細は市ウェブサイトをご確認ください。



市ウェブサイト

通学路合同点検を行いました

稲城市では毎年、市立小学校の通学路の合同点検を行っております。合同点検では、小学校通学路において、学校及び保護者(PTA)から改善要望のあった箇所について、学校、保護者(PTA)、道路管理者(市管理課・東京都)、多摩中央警察署及び市関係部署との合同点検・検討により、通学路に必要な安全対策を行っております。点検結果は、市ウェブサイトに掲載しておりますので、ご覧ください。

▽問合せ 学務課学務係



市ウェブサイト

稲城市の教育「イエール」読者アンケート

皆さんの感想をぜひお聞かせください。